

被害の軽減・
有事の際の備えに

各関係機関との連携した取り組み

市では、鳥獣による被害を軽減するため、猟友会や警察、区長連合会などの関係機関と対策連絡会を開催しています。また、市街地に出没し、緊急的な捕獲が必要となった場合に安全で速やかな対応ができるよう対策訓練や花火を使った動物を追い払う研修なども実施しています。



クマの出没を想定した訓練の様子



熊対策連絡会の様子

地域住民と協働で
対策に取り組むために

市の各種支援



支援策の
詳細は
こちら

柿の木等実のなる木の伐採にかかる 費用の補助

クマを住宅地などへ誘引するおそれのある柿の木
の伐採を業者に委託して実施する方に対し、費用の
一部を補助します。

補助金額▶個人：費用の1/2（上限2万円）
※区の場合は経費の100%（上限5万円）

草刈り機の貸し出し

市内の環境整備を行う際に草刈り機を貸し出しま
す。

貸出期間▶原則、貸出日から5日間
※燃料費は自己負担

狩猟免許の取得にかかる経費の補助

免許取得のための講習にかかる費用の一部を補助
します

補助金額▶5,000円

電気柵設置の補助

野生動物の侵入を防止する電気柵設置に必要な資
材の提供にかかる費用の一部を補助します。

補助金額▶1/2は農家組合が自己負担
※農家組合として申請が必要です

ワイヤーメッシュ柵設置の補助

野生動物の侵入を防止するワイヤーメッシュ柵設
置に必要な資材の提供

補助金額▶自己負担なし
※農家組合として申請が必要です

大規模緩衝帯の整備

市では山際の樹木を間伐して、山と集落を区分け
する緩衝帯の実施をしています。

※農家組合より要望のあった地区で実施。農家組合
の自己負担はなし。1ヘクタール以上が要件

ワイヤーメッシュ柵と電気柵で サルを撃退

「侵入防止対策」
を実施しています

鳥獣が田んぼや畑に侵入するのを防ぐ対策として、ワイ
ヤーメッシュ柵と電気柵があります。電気柵だけ、ワイヤ
ーメッシュ柵だけでは飛び越えてしまうサルには、組み合わ
せて設置することで有効な対策となります。

野向町牛ヶ谷地区では、昨年、県と市の補助を活用して設
置したこの方法で成果をあげています。

interview



農業者
東川照雄さん

丹精込めて作った野菜がサ
ルに獲られ、とてもつらい思
いをしましたが、ワイヤーメ
ッシュ柵と電気柵を設置して
からは、被害がなくなりました。

少し手間がかかりますが、
効果は高いと思います。

サルの被害に苦勞されている
地域の方は、近くの方と協
力して設置するなど、ぜひ試
みてください。



電気柵
ワイヤーメッシュ柵

ワイヤーメッシュ柵を
よじ登っても
電気柵で撃退



市民や農作物を守るために

「有害獣捕獲」
について伺いました

鳥獣の捕獲活動では、1頭でも多く捕獲することを目標にしていますが、野生で暮らす鳥獣は、警戒心が強く、また学習能力があるため、猟友会のメンバーでも簡単に捕獲することはできません。特にクマの対応には、銃を扱う高い技術やクマと向き合った経験が必要です。

高齡化や後継者不足の問題がある当会ですが、今後も被害を防いでいくためにも技術の継承が必要で、国や県、市などと連携して、後継者の育成に力を入れていければと思います。狩猟などに興味がある方には詳しくお話しさせていただきます。



有害鳥獣捕獲隊
(福井県猟友会勝山支部長)
隊長 上 弥吉さん

有害鳥獣捕獲隊 Date
市が猟友会を捕獲隊に任命
隊員数(会員数)：43人